

01 表紙 仙崎祇園祭

～仙崎のまちを山車が練り歩く～

7月19日(水)から26日(水)にかけて、仙崎祇園祭が行われました。

山車の上では、笛や太鼓、かねを使って「祇園ばやし」が奏でられ、子どもたちの踊子が舞を披露。仙崎のまちを華やかに彩る舞と音色に、地域住民や観客から大きな拍手が送られました。

また、八坂神社では縁日も開催され、子どもたちや家族で楽しむ様子が見られました。



02-03 **ながとのニュース**

04-05 **特集1 ヒストリアながと開館1周年**

06-07 **特集2 ながと夏の思い出を振り返る**

08-11 **知っちょこ PickUp**

12-19 **暮らしの知っちょこ**

20-21 **9月の予定表**

22 **知っちょこコラム**

23 **長門の人**

24 **裏表紙**

\\ SNSで  
情報発信中 \\

シティセールス推進班では地域のイベントなどを取材させていただきます。イベントや話題の人などの情報をお寄せください。

(☎: 0837-23-1117)

mail: koho@city.nagato.lg.jp



▲ Facebook



▲ Instagram

\\ 市政情報番組  
放送中 \\

市政情報番組「知っちょこ」をほっちゃんテレビで放送中です。広報掲載情報の中から、テーマを選びわかりやすくお伝えします。

また、長門市のYouTubeチャンネルからも視聴可能です。



▲ YouTube



7/26  
(水)

**ながとのニュース**

**大浦漁港で養殖した赤ウニを試食**

令和4年6月から大浦漁港で試験養殖を開始した赤ウニの試食会が行われました。漁獲量が年々減少している赤ウニの養殖は、山口県内で初めての試みであり、新たなブランドを構築することで安定した収益が得られる産業の確立を目指し取り組まれたものです。

漁業者や仲買人、飲食店、行政、報道関係者など約60人が赤ウニを試食し、赤ウニの味や販売方法などについて意見を交わしました。

7/28  
(金)

～子どもたちに英語の楽しさを教える～  
**大津緑洋高校が英語教室を開催**

大津緑洋高校英語部の生徒7人が日置子ども会からの依頼を受け、小中学生25人を対象に英語教室を開催しました。

教室では「英語で楽しい時間を過ごすこと」を目的に、ゲームや絵本の読み聞かせ、「幸せなら手をたたこう」を一緒に歌って子どもたちと楽しく交流しました。子どもたちは「野菜を英語で言うのが難しかった」「みんなで一緒に歌を歌えて楽しかった」と感想を述べました。



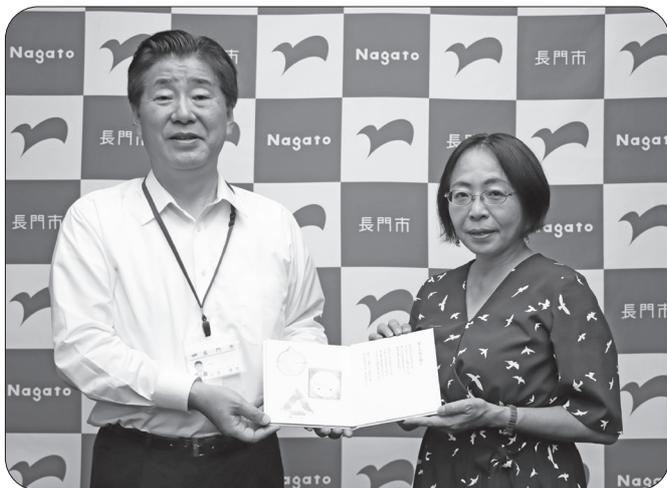
8/1  
(火)

～金子みすゞの作品を世界に発信～

## ユニバーサル絵本の完成を報告

令和4年度ながと若者起業家ビジネスコンテストで優秀賞に選ばれた株式会社アポロジャパンが、「ユニバーサル絵本」の完成を市長に報告しました。

「ユニバーサル絵本」とは、株式会社アポロジャパンの特許技術であるスクリーンコードを絵本に印刷し、専用機器やスマートフォンのアプリでかざすことで朗読をするものです。専用アプリは日本語や英語、中国語などの多言語に対応しており、金子みすゞの詩を国内外の人に知ってもらうことが可能です。



8/9  
(水)

～ベトナム社会主義共和国に7泊8日～

## 市内中学生が海外研修派遣

長門市中学生海外派遣事業「あすへの翼プロジェクト」でベトナム社会主義共和国に研修派遣される中学生6人が市長にあいさつをしました。

生徒たちは8月13日（日）から7泊8日間の日程で語学研修や現地学生との交流、ホーチミン市内の施設や歴史文化遺産の見学をする予定です。

深川中学校3年の山本華凜さんは「積極的に現地の人とコミュニケーションを取り、しっかりと英語を勉強したいです」と話しました。



8/10  
(木)

## ～野球（女子の部）で全国大会に出場～ 岡藤美瑠さんが出場を報告

菱海中学校3年生の岡藤美瑠さんが市長に全国大会出場報告をしました。

岡藤さんは、8月18日（金）、19日（土）に広島県呉市にある鶴岡一人記念球場で行われる日本生命カップ第23回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会（女子の部）の九州選抜代表チームに2年連続で選ばれ、今年は主将を務めることになりました。

「去年は優勝できなかったのですが、今年は主将としてチームを引っ張り、必ず優勝できるように頑張りたい」と大会への意気込みを話しました。



8/10・11  
(木・金)

～どっかーんと、花ひらく～

## 大津STEAMプロジェクトが夏会開催

大津STEAMプロジェクトが地方創生を学び、未来の花を咲かせるイベント「夏会（なつかひ）」をラポールゆやで開催しました。

10日は産学公の第一線で活躍するフロントランナーとのシンポジウムから地域活性化について学び、11日は高校生が長門への想いをダンスや歌、演劇などで表現する劇場パフォーマンスを披露したり、地元の小・中学生と一緒に自身の夢を花びらに書き、会場に大輪の花を咲かせました。

